

令和元年度 事業報告書

学校法人吉田学園

1. 法人の概要

■ 法人本部の所在地 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 3-12-19

■ 設置する学校・学科等

◇ 大阪アミューズメントメディア専門学校

【所在地】 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 3-12-19

【学 科】 専門課程

ゲームプログラマー学科、ゲームプランナー学科、
ゲーム・アニメ3DCG学科、アニメーション学科、
キャラクターデザイン学科、マンガイラスト学科
ノベルス文芸学科、声優学科

2. 大阪アミューズメントメディア専門学校 事業報告

■当該学校・学科等の定員、令和元年度在籍学生数

課 程	学 科	定員	1年	2年	合計	前年比
専門課程	ゲームプログラマー学科	80	48	43	91	-1
	ゲームプランナー学科	60	35	24	59	+33
	ゲーム・アニメ3DCG 学科	80	45	32	77	+3
	アニメーション学科	80	43	42	85	+4
	キャラクターデザイン学 科	80	48	43	91	+1
	マンガイラスト学科	80	27	24	51	-3
	ノベルス文芸学科	80	39	39	78	+12
	声優学科	420	192	180	372	±0
合 計		960	477	427	904	+49

■当該学校の令和元年度教職員数の状況

学校長	教員		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
1	24	60	7	0	92

■令和元年度 事業報告

① 定員充足の入学者獲得。学生数の安定確保と環境整備の準備

大阪アミューズメントメディア専門学校は、令和元年度には学校法人化されて四年目となり、順調に卒業生を輩出すると共に、学生募集も安定した傾向を見せています。募集が好調なゲームプログラマー学科やキャラクターデザイン学科においては、定員を充足するに留まらず、許容スペース限界の学生を入学させても収まらず、年度途中で募集を停止する状況であった。本学へのニーズが保たれるならば、校舎・教室スペースの拡大により、教育環境を維持した上で、定員数を増やす試みも必要かもしれない。

本学は、現在の大阪市淀川区の一棟建て校舎に、複数の多様な学科を備え、イベント用ホールや音声収録スタジオなども備えており、教育環境としては充実しており、交通・通学の便も良いので、当面は学科定員枠の変更や、校舎の改造で対処する。しかし今後も、引き続き、入学希望者が減らず、より良い教育環境を志向するなら、校地・校舎の拡大拡充も、中・長期的には必要となるかもしれない。

② 「無償化認定校」資格の取得と制度への取り組み

本学は、エンタメ系制作業界と言う特殊な分野を目指す学校であるが、適切十分な教育体制を整えた学校であるという社会的な認識を得るためにも、「無償化認定校」資格の取得に取り組んできた。

各学科カリキュラム講座内容の整備、成績判定会議の開催、学校評価委員会の設置準備などの制度準備計画を立てて、認定校資格を大阪府教育庁へ申請、11月には無事、認定が得られた。

その後、年に二回の成績・単位認定の学内会議の定例設定。年度内の第一回学校評価委員会の開催と「学校評価」の提出など、諸要件を満たしながら、学校運営に努めた。

これまでの本学の運営に比べると、厳しい制度・システム運営が求められる。よって、本制度設計の土台を活用して、各学科の運営強化に来年度以降も努めたい。

来年度から相当数の学費も含む奨学金受給者が出ると思われる。

③ エンタテインメント業界への就職・進出。サポート制度の改善強化

本学は非常に強い「エンタテインメント産業・制作への人材輩出を旨とする学校」であるため、通常のカリキュラム内の授業と共に、いわゆる「キャリアセンターによる、就職・デビュー活動の指導とサポート」の特化・充実が、特長となっている。

年度を通じて、各学科教務の動きとの連携に努め、就職率・デビュー成績の向上につとめた。

一例として、ゲーム三学科の中では、

プログラマー学科は、教務の人員体制を強化し、就職に向けて二年生の個別面談を月例化し、就職指導を徹底させた。また、グラフィックス学科においては、学生の二大志向に合わせて「ゲームのキャラクター制作業志向者」と「3DCGムービー制作業志向者」に大別して、進路指導を類別して行い、課題なども分ける事によって、学生の就職成果を向上させることができた。

また、声優学科においては、AMGグループ会社である「AMGミュージック」が、在校生向けに、コンテストの設定をしてくれた中から、歌手・ボーカリストとして選ばれる学生が出た。

声優業界は仕事が東京に集中しているため、卒業後の進路として東京へ移住する卒業生が多いため、声優学科では、保護者に対して改めて「声優業界の最新情報、東京進出の実際状況、学校としての説明とアドバイス」という保護者向けの進路説明会を特別に設定し、安心していただけていると考えている。

④ 進路の多様化の模索

本学は、そもそも進出が難しいエンタテインメント制作業界をなりわいとする人材を輩出しようというのが建学の目的である。よって実際の卒業生の進路も、所属先、場所、雇用のステイタスなどは様々ありますが、学生が志向している制作現場へ就職する者が卒業生の大多数を占めるのが、本学の特徴である。

一方で、諸般の事情等により最終的に「制作業界への進出」を望まない学生も一定数、です。本学のキャリアセンターによる指導・誘導が、制作業界への強い収斂を見せている中で、他分野への幅広い「スキルを活かした就職」の開発が急務となっている。

既に業界で活躍している（前身校も含む）卒業生組織である「OB OGネットワーク」が引き続き活動をしている。

その活用発展は、4年前の学校法人化以来の課題になっているものの、いまだ「就職・進路開拓へ向けての大きな柱となるまでには至っておらず、来期以降に向けた大きな課

題の一つとなっている。

⑤ グループ全体の一つの区切りをステップに。

令和元年度の10月には、東京にて「AMGグループ創設二十周年記念パーティー」を開催した。

本学の母体となった、フリースクール、アミューズメントメディア総合学院や、制作事業部（AMGエンタテインメント）の過去の取り組みの上に、学校法人吉田学園大阪アミューズメントメディア専門学校が存在があり、本学を支える教育システムも大きな貢献を得ているが、今年度に至って、本学の占める位置は高くなり、グループ全体の教育部門の完全に中核的な存在となっている。

東京のフリースクール教育部門を、本学の収益事業とした事を踏まえ、東京の教育部門を学校法人化するだけでなく、時代の趨勢に合わせて、首都圏における専門職大学化まで視野に入れての取り組みを開始している。

研究会活動を経て、専門職大学設立準備室の動きをスタートさせている。

⑥ 職員研修活動や地域貢献。

学校法人としての職員の新しい知識とスキル習得のための研修会も、不定期ではあるが年数回、実行している。今期は、「学生のメンタルヘルスと学校での対応について」（講師：団体役員・大学講師）と「来年度から本格導入される“高等教育の修学支援制度、（無償化奨学金）」について（講師：文部科学省の講習会を受けた本学の担当事務職員）の研修会が全職員向けに開催され、報告されている。

今年度も地域貢献の一環として、引き続き、大阪市や淀川区の広報業務のお手伝いを、学生が作品を用意する事によって実現している。

新しく、大阪府警淀川警察署よりの依頼によって、署管内に配布する「詐欺被害防止のための防犯速報」のためのカット絵や4コマ漫画を作成提供し、広報活動に貢献している。

以上。